

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	交通関係国際会議等に必要な経費	<b>担当部局</b>	総合政策局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度～	<b>担当課室</b>	国際政策課	課長 山口 裕視				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	46 国際協力、連携等を推進する					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-	<b>関係する計画、 通知等</b>	-					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	国土交通分野に係わる地球環境問題、セキュリティ問題等、一国のみでは解決が困難な世界的規模の課題について、ハイレベルで国際的な協調・連携を推進するための枠組み作りを行い、その下で、国連、G8、APEC等と連携を図りながら、戦略的な取組みを展開していく。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	世界のCO2排出量の約23%を占める交通セクターについては、中国、インド等新興国の急速な経済成長に伴うモータリゼーションの進展等により、CO2排出量の急増及び交通に起因する大気汚染の更なる深刻化が懸念されている。このため、「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」の主催国であるわが国がイニシアティブをとり、その合意事項を強力かつ着実に実施すべく、様々な枠組みを活用して交通環境分野における気候変動・大気汚染問題等に対する国際協力・連携を強化していく。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	50	53	51	48		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	50	53	51	48		
	執行額	41	50	41				
執行率(%)	82.0%	93.9%	81.0%					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23年度)
	国際協力・連携等の推進に寄与したプロジェクトの件数。複数の事業を合わせた指標となっていることから個々の事業における目標値等の設定をしていないため、業績指標単位での数を記載。		成果実績	件数	122	120	124	121
			達成度	%	100.8%	99.2%	102.5%	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	国際的な協調・連携を推進するために行った、MEET、APECの国際会議等の発注件数		活動実績 (当初見込み)	件数	45	39	43	
					-	( 45 )	( 39 )	( 43 )
<b>単位当たり コスト</b>	1, 038(千円/件)		算出根拠	21年度～23年度の執行額と活動実績件数から算出 131, 768千円(執行額) / 127件(件数)				
<b>平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4百万円						
	職員旅費	4百万円						
	委員等旅費	2百万円						
	庁費	19百万円						
	国際交通フォーラム拠出金	23百万円						
	計	48百万円						

※計数は、原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国土交通分野に係わる政府間の協力・連携のために国自ら行うべき事業を実施している。会議開催については相手のある話であり国際情勢に左右されやすいため一部不用が発生している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争へ移行し複数応札となっている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績及び活動実績については23年度目標値、活動見込みをそれぞれ上回っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業の性質上、諸外国政府関係者との信頼関係構築が重要な要素となることを勘案しつつ、企画競争から一般競争契約へ移行し、また、経費削減に努めている。 また、引き続き、会合開催等に携わる請負事業者等との間で頻りに打ち合わせを行い、進行状況を的確に把握することを通じて、支出先・使途等についても十分把握している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	42	平成23年行政事業レビュー	55

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
41百万円

[各事業の企画・立案、実施、進捗状況管理等]

旅費  
5百万円

通訳等諸経費、拠出金等  
27百万円

【一般競争入札】

A. 民間企業(1社)  
9百万円

[国際シンポジウムの実施・運営業務]

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.株式会社ピーピーアイ					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	会場借料、備品借料、資料作成費、 通訳等	8			
人件費	シンポジウム運営	1			
計		9	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ピービーアイ	国際シンポジウムの実施・運営業務	9	4	80.45%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					